



八期オンライン日記第71号 (3月号) 2023年3月1~3月31日

●巻頭文 安良神社 安良姫



西山和宏

昔、安良姫^{やすらひめ}という官女が京の都にいた。ある日、川辺で直垂^{ひたたれ}を洗っていると、数羽の白鷺が飛んできて、その美しさに見とれていた。ハッと気がつくと、直垂の片袖が川に流れて、手の届かないところにいつてしまっていた。

その不注意をとがめられて、門扉に縛り付けて、炭火で焼き殺されることになった。ところが、安良姫は日ごろから、十一面観音を信仰していた。その功德により観音が身代わりになり、姫は難を逃れ、大隅国横川の里に落ち延びた。

しかし、都のことや母君のことを思い、煩悶ののちに安良岳の頂上に登り、はるか都の方を望みながらで自害して果てた。

その後、いろいろと怪しいことが続いたので、姫を祀るために、自害した安良岳の頂上に安良神社を建立した。

(これは年間;708年~715年であったと伝えられている)。その後、今から700年ほど前、安良岳の麓の現在地(霧島市横川町霧島市横川町上ノ164)に遷された。

この地方では、安良姫の自害後、炭を焚かず、紺屋や藍作りを入れず、門を建てないことになった。また、白鷺が飛んでくると、それを追い払うための祈祷をし、白いものを避けたという。

姫の母君が、姫に会うために京の都から訪ねてきた。紫尾田^{しびた}の奥まで来たが、だれも姫の居所を教えてくれなかった。母君は絶望し、ついに自害した。それを哀れに思い、母君は腰越宮に祀られた。

安良神社は、鹿児島神宮、霧島神宮、加治木春日神社、福山宮浦神社とともに大隅5社として崇められてきた。



安良神社
安良岳頂上

神社には(北条泰時の時代の嘉禎2年、1236年)、(南北朝統一間近の)北朝の康応2年(1390年)



の棟札や板碑、古文書などが所蔵されているという。享保19年(1734年)には正一位「安良大明神」が贈位された。

神社には、室町時代初期の13の能面も伝わっており、現在は郷土館で保存されている。社宝としては、御幣3古鐘2なども伝わっている。

例祭日は、4月17日と、11月5日。11月5日からは、(踊りの最後の餅を撒く)四方立舞^{しほうたちまい}、田の神舞が奉納される。

●前回70号『オンライン日記』19 ページでした。



内容は無理に作りすぎ(編集に凝ること)のないよう自然に「あったこと」を並べるようにしました。

これ程、大々的な中村隆重『花ノ木農場』記事はお終いかも知れません。それほど、この日の南日本新聞は異常でした。イヤーいい意味です。

誇りと言ってもいいかも知れません。隆重さんの喜びは私たち八期会の喜びでもありますから。

ところで、ながいながいコロナ禍を私たちは体験しました。

本当に、私たちのような、先の長くない者にとっては、勿体ない無駄な時……を拘束されました。

こうして、晴れてコロナ呪縛(刑務所)から出所しました。

これから、思い切り、われらの人生の残りを謳歌したいものです。

皆様にとって、来月が素敵な3月になりますよう。

大石ケイジ

●大石さん

いつものことながら ありがとうございます



八期オンライン日記を受け取って、そうか2月も終わりかと少し驚きました

中村さんは本当に大変な立派な事業を創り上げたものです

彼の頑固そうな一徹なところが成し遂げたのでしょう

本田さん、イチローは敢然と病に立ち向かっている態度が立派です

勝みなみ、凄いですね 何が凄かって、

「祖父から教わった頃と基本的にスイング、テンフィンガーグリップもそのまま、

コーチをつけずすべて自分で考えてやってきた」と添付の新聞記事にあった

ジイさんも大したものですよ。プロレスファンにも驚きです。

鉄砲伝来と中国人倭寇 ポルトガルの進出に協力

漂着でなかったとは、我々は何を教えられていたのか

東シナ海を支配し明国寧波近く舟山諸島に本拠を構え部下4万人とも言われた王直に伴われて種子島を訪れたポルトガル人は鉄砲の製造方法を教えて、戦国時代の日本に弾薬の主原料、硝石の売り込みのマーケット開拓を図ったという説がある。

●さっそくのお返事ありがとうございます😊

この編集の仕事はネタがなければ構想も浮かびません。寿司屋さんや料理人が魚や野菜が必要なのも同じです。

西山さんはそのネタをタイミングよく提供してくれるのでぼくは構想がしやすく助かります。



今回の巻頭文、もし、曾根さんのご主人か、お子さんが見られたら喜んでもらえるのでは、と思いながら、自分自身もゆっくり子どもだった頃の話をしたかったですね。

今から、徳之島のYouTube 作りに取り掛かります。

本田さんから今さっき「今朝の新聞見ましたか」と催促がありました。

もう『景観大賞受賞』は2月で終わったと思ったら。彼は豊久しか頭にないので。

お礼と思いつくままに…

そうそう、関東同期会写真は堀田提供で名前を入れるのまで指定がありましたよ。



●大石さん、いつもの毎月のオンライン日記、ありがとうございます。

今回も、自分の闘病や、永吉南郷会の史蹟保存活動の「景観大賞」の優秀賞受賞の記事などを掲載いただき、恐縮しました。

その上に、大石さんが指摘されている西南戦争の最後の場面の延岡の陣地でのことです。

自分としては最も関心の高かったのは、やはり指南戦争の西郷隆盛が敗戦を自覚し、鹿児島城山への帰還を決意した延岡市の可愛岳を仰ぎ見る北川の児玉邸陣地での幹部部下に対する軍議の時の、彼の心境はいかばかりであったか？を、思うに、彼のその時の心情をや想像を絶する寂寥感溢れる感慨であったと思われま

可愛岳の麓に位置する彼らの最後の陣地の児玉邸を訪れましたが、その部屋で最後の決断を西郷が下した模様の姿形を人形化して、残してあります。

それに、それまでも彼が意識していただろうの、陸軍大将としてのそのままの軍服もその場所で焼却した後の庭も残されています。

その前の、大石さんが書かれた「和田越え」の最後の激戦場には、山の中腹の道筋に、西郷陣地跡の顕彰碑がありました。

そこには、突然、我々が訪ずれたのですが、記念碑周辺は、きれいに清掃されて、見事な生花が飾ってありました。

地元の方々、今も西郷軍の事をいつも顕彰なさって、清掃されておられることを知り、感動を覚えました。

西郷隆盛は、その最後の軍議を終えた後、地元宮崎や、鹿児島以外からの兵士に、それぞれ自分の故郷に帰るように指示して後、鹿児島城山を目指しての「逃避行」を遂げています。

おそらく、桐野さんが書いておられるように、その時の官軍のキャップも西郷が過って支援した山形有明でした。

その後の激戦を戦いながら、故郷、城山への無事帰還を果たすのに、官軍もささやかな攻撃に終始したと思われる事案が、アチコチにあるやに聞いています。

いずれにしても、官軍の幹部は、西南戦争に入る前は、西郷が育てた人材が、多かったことであり、西南戦争の矛盾も感じられます。



いずれにしても、9月14日の城山総攻撃の前も、西郷隆盛を死なせてはならないという官軍側の、最後の時も用意しての、遂に決戦開始に至つたとの事です。

その後、時間が経過しましたが、明治政府も天皇の意向もあり、死んではいるものの、名誉が回復されていますね？

帰郷後、自分は郷土史に興味があり、地元の永吉島津家の「お勉強」を始めて、島津宗本家までに至っていますが、若い頃からは、在京の頃まで、西郷隆盛一辺倒の、仕事をやりながらの、普段は彼の心酔者であり、本だけはいろいろ漁っていました。

俗に言う、「西郷信者」でした。



●西南戦争では、山城屋事件で西郷さんに助けられた山縣有朋が軍を動かし、欧米使節団出発前夜横浜の壮行会で西郷さんから三井の番頭さんと揶揄された尾去沢銅山事件の張本人井上薫が戦費調達に奔走した。

大久保利通は、西南戦争にどのようなことをしていたのか？

西南戦争のころの西郷さんの胸には寂寞としたものがあつたと思う。

山縣有朋は、上野の西郷銅像の除幕式（800人出席）で、

内閣総理大臣として祝辞を述べたが、どのような思いであったろう。

西山和宏

●大石さん



八期会通信「オンライン日記」2月号を受け取りました。

編集 ご苦労様です。

あまり、無理をなさらずに…

放送大学 連絡ありがとう。古代史 を見ました。

私は 奈良時代以前 を中心に 興味を持ち、TV、書籍を見ております。御礼まで

木場 祥雄

●大石様 皆様 いつも配信感謝です。小生 杖つき爺さんで ポチポチやっています。



長崎 諫早 森永

●3月2日

https://youtu.be/_OnhgFlhbVY

徳之島周遊 3226 (2023年2月26日を縮小して付けました)



今回は JAL のモニターツアーに仲間たち5名で参加しました。

2023年コロナが落ち着いて初めての旅です。

それでも、条件として3回目のワクチン接種証明が必要でした。

行って見たかった徳之島でしたけど、1日で周遊出来るのか？内容に不安もありました。

折角行くのにちょっと見の駆け足観光になるのでは？という心配です。

結果的には、ほぼ満足な旅でした。と言うのも、コスパがすごかったです。

往復飛行機に終日観光バスに添乗員とガイド付き、昼食も立派な郷土料理ができました。

旅の助成金が3,000円に、お土産代1,000円が差し引かれるとコース料金19,800円も随分お得になりました。



2年ほど前に八期の歴史好き仲間と『甌島マイカー2泊3日』というツアーを利用した時も割引だらけの旅だった覚えがあります。

元気なうちに日本の島々や歴史(史蹟)などを求めてリーズナブルな気ままな旅をしたいと思えます。

シリーズ化しようと、勝手に『大石ケイジの日本スケッチ』とタイトルを付けました。

「中国スケッチ」のようにはいかないと思いますが頑張ってみたいと思います。ケイジ

●大石くんへ



人がめったに行けない徳之島への旅は楽しそうでしたね。

お疲れ様でした。

古代史歴史講座予約しました。ありがとうございます。

お誘いの「角島旅」は2015年にも行っていました。

その前も行ったことはありましたが、2015年は妻の叔父の喜寿のお祝いで行ったのでした。

橋も島も楽しめるところです。このときは1泊でした。この旅のブログは前後あります。

私は3月27日～30日の3泊4日で長崎と別府を回ってきます。

ホテルの予約は割引とクーポン券使用で済ませました。

あとは高速バスの予約は必要ということなので、やらなくてはなりません。 隈元

--●安部龍太郎「ふりさけ見れば」



3月4日阿倍仲麻呂の一生を書いた
安部龍太郎「ふりさけ見れば」の連載が2月28日に完結
しました

添付は、完結の弁です。

ストーリーも挿絵も素晴らしかった。 =====西山和宏

=====



●正倉院展に行った時、繡線鞋(ぬいのせんがい)を見た。唐代に高貴な女性たちが使った室内履きで、爪先にコブのような盛り上がりがついている。いったいこのコブは何だろう。ただの飾りなのだろうか。そんなことを考えながらガラスケースをのぞき込んでいると、

「これは遣唐使が日本に持ち帰ったもので、他には新疆ウイグル自治区博物館にしか残っていません」学芸員の方が説明して下さいました。

遣唐使の物語に取り組むようになってから、河西回廊や天山南路、新疆ウイグル自治区の取材に出かけ、ウルムチ市内の博物館を訪ねた。古代服飾展示のコーナーに件(くだん)の室内履きがあった。

乾燥した気候が幸いしたのか、正倉院のものより保存状態が良く、美しい刺繍(ししゅう)の色彩がはっきりと残っている。これなら楊貴妃のおみ足を飾るにふさわしいと感心していると、ガイド氏がこう言った。



「これは雲頭靴(うんとうぐつ)と言います。爪先の出っぱりは、ロングドレスが足にまとわりつかないようにするためです」

もはや中国の古都には残っていない室内履きが、長安(西安市)から2460キロ離れた奈良と、2570キロのウルムチに残っている。それは唐代の文化や情報の広がり範囲を今に伝える確たる証拠なのである。

西のぼる 画

30年ほど前、中国を取材するために一人旅に出た。北京から南京、上海、厦門(アモイ)、香港を興味のおもむくままに訪ねたが、その時痛感したのは中国、東アジアの歴史と日本は分かち難く結びついているということだ。

漢字も仏教も儒教もかの国から伝わっているし、衣食住にかかわる多くのものが舶来していることは、うどんや納豆、呉服などの来歴を見ればすぐに分かる。それなのに我々はそうした一体性に目を向けることなく、日本の独自性だけを強調しがちである。これでは日本の本当の姿を知ることはできない。日本をユーラシア大陸の視点からとらえ直す仕事をしなければ……。

そう決意して帰国したものの、歴史小説家になって間もない私には、そうした作品を書く力量も発表させてくれる媒体(ばい)もないもなく、目先の仕事に追われるうちにいつしか忘れ去っていた。

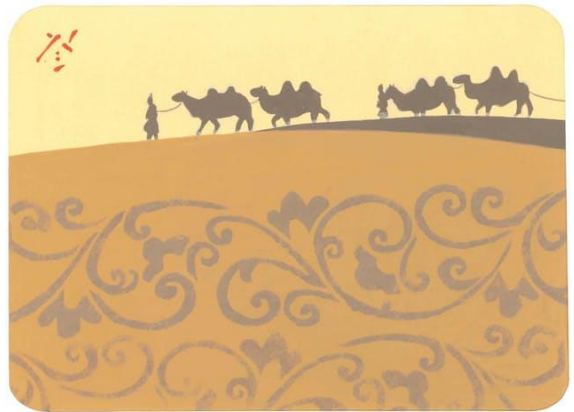
宿題を思い出したのは、12年前に日本経済界訪中団に加えていただき、西安市興慶宮公園の阿倍仲麻呂記念碑の前に立った時だ。「仲麻呂は安部さんのご先祖じゃないの」

杉田団長の冗談交じりの一言に、私のアンテナが反応した。そうだ。遣唐使を描けば、長年の宿題をはたすことができる。そう考えて帰国するなり準備にかかったが、中国を舞台にするには数多くの困難がともなう。

克服するには国土の広さと空気感を体に覚え込ませるしかない、それから毎年中国を訪ねて取材をつづけた。

連載1年8カ月、567回にわたる物語を書き終えることができたのは、多くの方々の助けがあったからである。

中でも元明治大学教授の氣賀澤保規先生には、隋唐史の初歩から教えを受け、作中の記述に誤りがないかどうかチェックしていただいた。空中サーカスのような仕事に安心して没頭することができたのは、先生がセーフティーネットを張っていて下さったからだ。



画家の西のぼるさんには今度もまた素晴らしい作品を添えていただいた。毎朝新聞を開いてさし絵を見るたびに、小説を書き継ぐ勇気と気力がわき上がったものだ。 西のぼる 画

吉備真備のふるさとである倉敷市真備町(まびちょう)を訪ねた時のことも忘れ難い。

伊東香織市長が真備町の歴史関係者の方々とともにマイクロバスで迎えに来て、自らマイクを握って史跡の案内をしてくださった。ラストシーンを書く前に、山口県長門市の二尊院を訪ねた。

油谷湾の北側の港(久津(くづ))に面するこの寺には、楊貴妃渡来伝説があり、彼女の墓だという五輪塔も残っている。しかも日本海に面した外港は唐渡口(とうどぐち)という地名なのである。

これも繡線鞋と同様に、日本と唐、そしてユーラシア大陸が海の道でつながっていた証(あかし)である。楊貴妃本人ではなくとも、関係者がこの地に来ていたはずだ。

私は切り立った断崖(だんがい)に囲まれた唐渡口をながめながら、楊貴妃の姉楊玉鈴が渡来したシーンを書く決意をしたのだった。

●3月4日 西山さん



素晴らしいものを見せていただきました。いや、読ませていただきました。というべきか文章も挿し絵も素晴らしいですね。

新聞連載が終わったのであれば、もうすぐ本にもなるでしょうから是非読んでみたいです。

久しぶりに遣唐使と阿倍仲麻呂のことで胸が踊ります。

隈元達雄

●3月4日



毎朝、新聞連載を楽しみました。本当にお願い面白かった。

阿倍仲麻呂と楊貴妃が同じ時代とは知りませんでした。

それどころか、仲麻呂は玄宗皇帝に強いられて楊貴妃の姉を後妻に迎えました。

おそらく、文庫上下2巻で出版されるのでと楽しみにしています。

ところで、南日本新聞に「家康」が連載されているとのこと
文庫で8巻まで読みました。

●会津藩校「日新館」



3月に入り陽気もよくなってきたので、思い立って会津若松の藩校「日新館」に出かけました。

同校は5代藩主の時代の1803年に完成。

文武両道にわたる広範な教育を実施し優秀な人材を輩出せしめたとのこと。

武士の子弟は10歳になると入学する決りがあり、有名な白虎隊隊士たちも16~17歳の少年たちで編成されていたそうです。

総面積38千坪の地に東西120間、南北60間で学問所や武技鍛錬所が設けられている。

水連水馬鍛錬所などは今も相当な規模を誇っている。

最初の建物は戊辰戦争で焼失したので、現在の建物は1987年復元、当時の施設を忠実に再現したものとのこと。

江戸時代全国に300あった藩校の中で随一と評されただけのことはあると思えた。

ゆっくり見学すれば半日では足りない感じ。

会津人は純朴、かつ親切で気が合いそうな印象を受けた。

佐倉市 古市

●3月6日



かごしま街道見聞記 96

今回から南薩路が始まります。第一回目は『谷山筋』です。内容は「絶筆か？五代書簡」黒田宛て...

7 文 化 2023年(令和5年)3月6日 月曜日 南 日 本 新 聞

黒田清隆に宛てた五代友厚の書簡 (後半部分) 橋元謙一郎氏所蔵

谷山筋① 鹿児島市

五代友厚 最晩年の書簡

かごしま 街道見聞記 [66] 桐野 作人

今回から南薩路へ転じます。南薩には谷山筋伊作筋川辺街道知覧街道などありますが、まず谷山筋の起点である鹿児島市ゆかりの人物を取り上げます。

数年前、鹿児島市在住の橋元謙一郎氏よりご所蔵の古文書を拝見させていただいた。十数点あり、その半数以上が明治期の黒田清隆宛て。差出人は薩摩藩出身者では、西郷隆盛、大久保利通、吉井友実、桐野利秋、山綱良、樺山資紀、五代友厚など。ほかに三条実美、大隈重信、山田顕義などからの書簡もあり、貴重な史料群だと感じた。今回はそのうちから、五代友厚(1806~85年)の黒田清隆(厚)宛ての書簡を挙げてみる。

それでも、五代は素朴な見通しを述べる。「当月中も療養すれば、幾分とも全快の兆しに向かい、外出などもできるのではないかと楽しみにしています」

さて、この五代書簡はいつ、どこで書かれたものだろうか。五代は関西実業界の巨頭として、大阪を中心に活躍していたが、明治18(1885)年頃から持病の糖尿病が悪化した。また同年七月、同郷の松方正義(当時、大蔵大臣)が五代を見舞い、東京にこられた同郷の名医・高木兼寛(海軍軍医総監)を勧めた(五代友厚伝記資料「書翰五〇三」)。

松方の忠告に従い、五代は上京。同年八月二十日、築地大川端の別邸(現・東京都中央区明石町)で療養生活に入っている。この五代書簡には年次が書かれていないが、上京後、しばらくしてのものだと考える。その手がかりは黒田の帰国である。それがいつ、どこからかといえは、「明治天皇紀 第五」(明治十八年九月六日案)に次のように書かれている。

「内閣顧問黒田清隆、清国地方を歴遊すること六箇月、昨五日帰朝す」

まさしく五代書簡の日付と内容に合致する。

五代は黒田より四歳年上だが、大久保利通と並び、黒田を薩摩閥の領袖として認めていた。とくに四年前の同14(1881)年、開拓使官物払下げ事件が勃発したとき、五代に冤罪が着せられたが、五代は開拓使長官の黒田の立場を考慮して、あえて釈明をせず汚名に甘んじた(未開照啓「五代友厚と北海道開拓使事件」)。

この五代書簡はその死去(九月二十五日)の十九日前だと判明した。その時期、病中の五代がほかに書いた書簡を確認できない。その意味では絶筆か、それに近いのではないかと。

もっとも、五代自筆かといえは書体に少し違和感がある。糖尿病で目を患っていた五代の意向を、その側近(たがえば堀孝之や岩瀬公圃など)が代筆したか、とすれば、五代の事実上の絶筆といえるかもしれない。

（歴史作家 隔週月曜付に掲載）

●大石さん



鹿児島街道見聞記 面白そうです。

今日から 2~3日 パソコン 病院入院します。

トロイの木馬 スパイウェア 侵入 修理してもらいます。

スピードアップも含めての修理です。

今から 入院します。しばらく…

直ったら連絡します。

木場 祥雄

●2月3日 五代友厚の手紙凄いですね

五代さんは大阪での方が評価は高いかもしれません

和紙に墨で書かれたものは永く残るものですね

官公庁の重要書類も和紙に墨で書かせるようにすればと思う次第



●西山レポートをお送りします。

●西山レポート届きました。

例により制作中の動画(限定 YouTube)終了後ゆっくり読ませていただきます。



古市さんも会津若松に行ってきたそうですね。

8日は『満山イチロー囲んで』ランチ会開きます。

古市さんも満山イチローさんもそして、あなたもお元気な様子。健やかにして長命なるは幸いかな。

●3月6日

今号は計数が多くて素人のぼくには難し過ぎた。

そうでなくても店を営んでいる頃営業はすべてが数字だったので、office もエクセルの使用が 80%を占めた。今号の最後のページだけは理解できた。

「英国の野菜高騰🍆の話」

仕入れ先の天候不順は分かるけど、電気代高騰による

温室栽培の減少はエネルギーをある程度ロシアに頼っていたのだろう。

由々しき問題だと思う

●確かに経営は数字



エクセルが 80%とは驚きですね

パソコンは顧客管理にも活用されたのではないのでしょうか

日本は食料自給率約 40%ですが、これはエネルギーベースです

金額ベースでは約 70%です。

つまり、食品支出の 70%で、国産のエネルギー 40%を購入

食品支出の 30%で、国産の外国産エネルギー 60%を購入

日本のエネルギー自給率は約 13%。

原発を止め、ロシアに経済制裁をやる余裕があるかどうか？

●先日のメールに、

店を営んでいる頃営業はすべてが数字だったので、office もエクセルの使用が 80%

とありましたが、単に売上の集計だけではなかったように推測していますが

どうだったのでしょうか？

差し支えなければ教えてください

以前、徳島で美容院を営んでいる方で、火事にあわれ

銀行に融資を申し込んだとき、返済計画を聞かれ

顧客名簿を見せて納得してもらったという話を聞いたことがあります。

●もちろんあらゆる計数管理もしていました。いちばん大切なのは顧客管理です。



税理士さんがいましたので日月年の売上から損益計算書など、税務署に絡む計算などは事務員がいましたので基本的には彼女たちがしていましたが、それとは別に日々の客数、施術内容(パーマとかカットなど)客単価、技術者別売上高、商品売上、初回客数、その割合…等々

エクセルで+×÷算。給料も歩合(実績売上)計算も面倒な仕事です。

それらをエクセルから得ることで翌日からの、翌月からのプランの下になります。

そういった意味ではワードを活用し始めたのは60代になってからが主です。

それもホームページビルダーに文章を入れる為だけに使っていました。画像編集はソフト(Jクルー)映像編集はサイバークリンクを使っています。

お話しのお客様名簿などはタカラベルモントなどが出しているレジスターを兼ねたパーソナルコンピュータを使っていました。客と施術内容と売上を打ち込めば大抵の集計をするのでコピーアウトしたのを見ればオートマチックに分かります。

この仕事と、現場のヘアスタイリストと2本立てで40年続かました。

振り返ってみて、この仕事が、自分に合っていたとは分かりません。

友人達の人生を見聞きすると羨ましいと思うことがありますね。もう一度生まれ変わったら絶対別の道を歩いてみたいです。

●丁寧なメールありがとうございます。

非常に参考になりました。



記述の内容に成程と納得しました

業種に関係なく顧客管理は重要ですね

ずいぶん複雑な計算があるんですね

おそらく、事前に計算式を作っておいて、数値を入力すれば

結果を得られるようにしていたと思います。

面倒な計算作業を間違いなく行うのに表計算ソフトはなくてはならないものです

実績に基づいて翌月の計画作成や商品在庫管理など近代的な経営ですね

今日でも、スーパーマーケットで、それが十分にはできていません

スーパーマーケットで買い物をすると貰えるポイントは、顧客別に購入履歴を分析できるという

触れ込みで導入されました。しかし、それは、ほぼ不可能な作業です。

私は、1983年から発売されたばかりのロータス123表計算ソフトを使って

スーパーマーケットで販売した商品の単品ごとに販売経費の計算をしました

今でもロータスの方が使いやすいですが、Windows 11ではロータスを使えません

簡単な作業ならエクセルでもできますが、私は複雑な関数は使えませんので

これから勉強というか練習をしなければなりません。

隈元さんも奥さんと一緒にロータスはよく活用したそうです。



孫娘が、昨年美容専門学校に行っていますのでこのメールを転送します。

●3月4日 LINEより本田様からのお手紙に返信しました。大石

このところ雑用が溜まって、ゆっくりいただいた文書に対してご返事が滞り申し訳ありません。

地域大賞(多分タイトルは間違いと思いますが)に関するご苦勞など、しっかり読ませていただきました。

●徳川幕府時代になる前、世界は大航海時代であった

スペインが先に来日し、やがてポルトガルに代わりさらにはオランダに代わった。



スペインの牧師は植民地開拓の先導者(先兵)のため拒絶された上智大学にはザビエル・ウィークがある
米国にはザビエルの名を冠した大学(ゼビアと発音)がシンシナティある。

●3月16日 隈元



私は 大隅半島の史跡には未踏の地ばかりです。

と言うかほとんどそのために行ったことがありません。

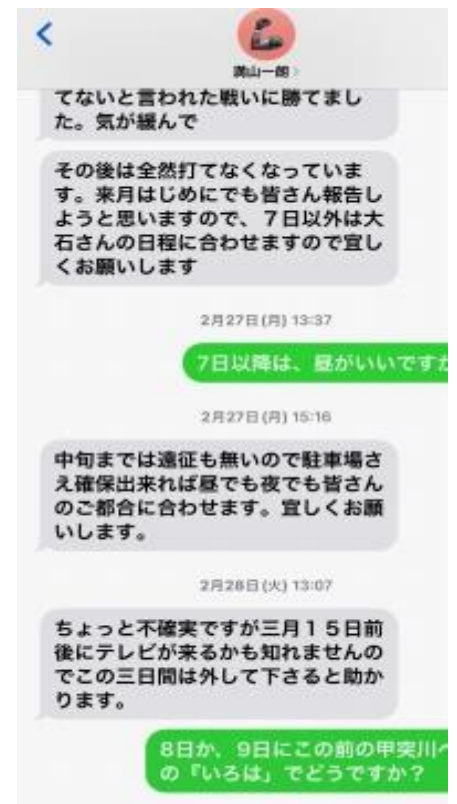
免許も返上した今はバスで行ってトコトコ歩き回るしかありませんが、年齢と体力との勝負になりますね。(苦笑)

●3月8日(水) 満山イチロー君の闘がん凱旋会を出征会と同じ『いちにさん』にて開きました。



参加者は(満山・大石・佐々木・隈元・森・南郷・永留の7名)でした。病上がりでかなり筋肉も落ちていましたが彼の話では来週には挑戦を受けているのでホームラン競争が予定されているとのこと大丈夫かな??

3月8日の昼『イチローくんの凱旋会』(いちにさんにて)



【以下はイチローブログより転載しています。 大石】



ファンの人達の“一日も早く鹿児島島のイチローさんの復活のホームランを見てみたい”という声に逆らえず、まだロクに打てていないのだが他のホームラン軍団員の都合の良い時間とメテ

オ・ドームさんの営業を邪魔しない日時ということで、来週火曜日の午後八時から「軍団員四人と私を入れて五人でホームラン合戦を行うことになった。

早急に鍛え上げねば間に合わない。

体重減と筋肉がなまってパワー不足が明らかなので、アウトステップして打っているが、ボールの見極めが難しいことと、タイミング取りも難しいので今回の挑



戦は以前のノーステップ打法で打たねばならないようだ。

今日の朝の体重は51.1kgで一日四食食べている割には全然効果は表れていない。

やはり1500gバットでのオーバーワークが足を引っ張っている感じだ。

ホームラン合戦のことを色々考えているのだが、日程的に余裕が無いので、体をいじめるやり方は一時中断して1200gバットで軽い負荷をかける素振りに変えてみようかと思っている。

今夜からやろうと思うが、“甘えさせるとなお更に悪くなるのではないか”という怖さもある。

ホント、これほどホームランを打つことがしんどい事だとは思ってもみなかった。

○ 退院したら不健康になるのではないかと心配だったが、今日現在健康だ。



自分の家に帰れるのになぜ健康に不安があったのか
というと、もう十年くらい掃除をしていなくてゴミ屋敷
になっているからだ。

バッティングセンター人生になって二十年以上が経ったが、掃除をしたのは一回しかないの、入院するまでは不潔極まりない生活状態だった



それが入院すると、毎日ベッドや周囲を清掃されるし、シーツや毛布カバーは一週間ごとにきれいなものと交換されるし、パジャマもタオルも毎日選択したものと着替えるのだ。

清潔過ぎて“清潔アレルギー”になりやしないかと思った。

そして今度は退院となると、急に汚い万年布団に寝ることになるのだ。

さすがにコレは怖かった。

K舞さんに頼んで布団を干してもらってベッド周りも掃除機をかけてもらった。

その後一か月、この不潔なゴミ屋敷で生活しているが、身体に異常は出ていないようだ。

免疫力が人より高くなっているのかも知れない。



○ 昨日はテレビ収録のもとで“メテオホームラン軍団の新リーダー決定戦”があった。

昨年は私が勝ったのでこの一年を引っ張って来て、挑戦者が現れたら受けて立っていた。

リーダーの第一の責務はこういう時に一番で受けて立たねばならないのだ。

結構しんどいのだ。

今回の決定戦では私は一本も打てなかった為、十年間務めて来たリーダーの座をK君に明け渡すことになった。

一本も打てなかったのは残念だが、常に挑戦を受けて立ち、しかも宿病の神経痛を抱えながらも高い勝率を上げなければならない為に、常に気の休まることが無かったので内心ホッとしている。

今年度はK君が何年ぶりかで色々な打者の挑戦を受けて立たねばならないわけだ。



何年か前の時は負けが込んだ為に、また私が交代したという歴史があるので今度こそは彼の正念場となるのだ。
私が高い勝率をあげていたので、結構しんどい目に逢うと思うが、現在では相当腕を上げて来ているので大丈夫だと思っている。

ただ、“一度あることは二度ある”といわれるので、私も簡単には気を抜くわけにはいかないのだ。

テレビに出されると名を上げたがる猛者連中が、我こそは、我こそはと挑戦して来るのでしばらくは十分な気合を入れてかからねばならない

それと、挑戦はしないが実態を見に来る人も増えるので、ここでも二本や三本は打ち込んで見せなければならぬのだ。

彼は長年の夢だったので嬉しさ全開で見ているが微笑ましいが、私は備えの立場として喜び半分、心配半分なのだ。

メテオ・ドームでのテレビ収録で、初めてホームランを一本も



打つことが出来なかった。

三か月の入院生活で体重は 48.9kg という絶望的な痩せ方をしてしまった。

先月の 11 日に退院して一か月とちょっとの間で必死に食いまくって、体重は 52kg まで回復した時点での“メテオ・ドームのリーダー決定戦”のテレビ収録。

両足の神経痛は痛み止めとシップで封じ込めてフルスイング出来る状態に臨んだ。

悔いの無いスイング状態だったが、ホームランは一本も打ち込むことが出来なかった。

残念の極みだ。

ノーステップ打法で過去最低レベルの体重なので、モロにその影響を受けているのは確かだ。

パワーが落ちているのを承知の上で相変わらず 1400g や 1200g のバットを使っているのも考え方を改める時期かもしれない。

体重が減り、パワーも落ちている状態での重量級バットでは、バットコントロールは己の思うようには出来ていないのかも知れないからだ。



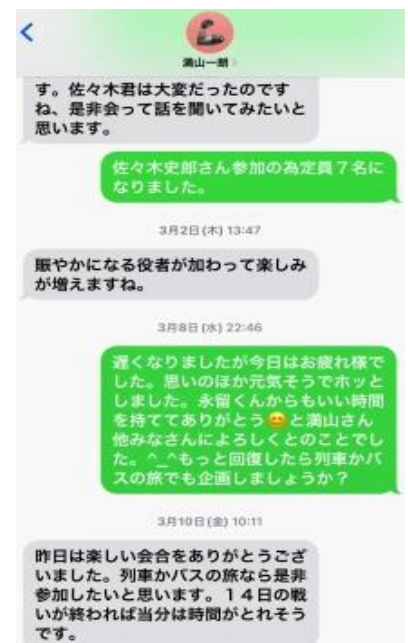
当たれば飛ぶのでいつまで経っても重たいバットを使って来ているのだが、今後は病み上がりで高齢化も進む一方の体の為、もう無理は利かないはずなので軽めのバットを使うべきだと結論づけた。

重たいバットのマグレ当たりとはおさらばして、軽めのバットで“己の力で打つ”、今後はコレがテーマだ。使うバットは下の写真の 1100g 前後をメインに使うて行く。

上から 1070g、1130g、1060g の「千グラム台トリオ」だ。

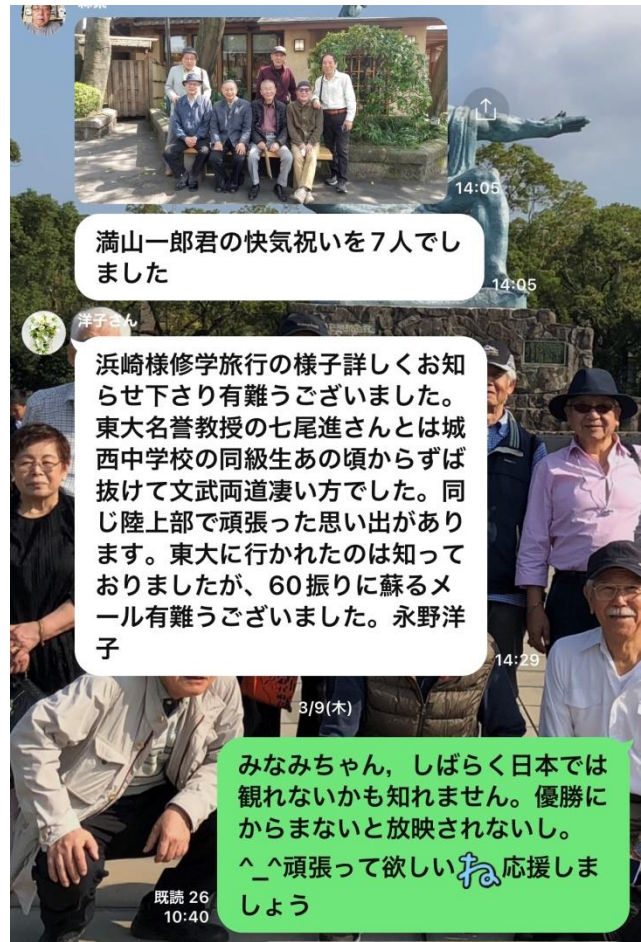
下の二本はグリップを細くして、ヘッドを返しやすくしてある。

来週のローテ日から実行に移すことにする。





●八期 LINE より関係トークを転載しました。 大石



●以下【八期 LINE】に来た玉龍後輩たちの修学旅行の記事 濱崎隆 提供



○ おはようございます。

本日、修学旅行2日目となりました。昨夜は就寝時にはもうすでにぐっすり眠っている部屋も多くありました。早朝からの活動できっと疲れたのでしょう。

しかし、さすが若者。今朝は疲れの色を全く感じさせない、澁刺とした表情で朝食会場に集まる生徒が多かったように思います。体調が万全ではないという生徒もいますが、臨機応変に休息を取るなどして、全体の活動に参加することができています。

本日は午前は上野恩賜公園散策、午後は東京大学における本校 OB である七尾名誉教授はじめ関東玉龍同窓会の皆さんとの交流があります。

現在は、上野恩賜公園で班ごとに散策中です。またレポートは後ほどお送りします。

○ 午後は東京大学へ。赤門での写真撮影後、関東同窓会の方々との交流会に参加しました。

まずは、東京大学生産技術研究所名誉教授であられる七尾進先生の御講話。東大のことに加え、教育のあり方、今後の日本の在り方についてお話して頂きました。その上で、生徒たちに必要な資質能力等についてお考えやお気持ちを届けてくださいました。特に印象的なものは、「自分の意見を持つこと」「他人が言っていることに無条件に引っ張られずに自分で考え判断すること」「『議を言うな』ではだめ。議を言って、かつ実践を行うこと」などでした。

御講話のあとは質問タイム。時間が足りないくらいたくさんの質問が出ました。ある生徒からは、「苦手意識を拭い去るために何が必要か」という質問が出ました。すると、七尾先生はすぐさま「易しいことをとにかく何度も繰り返すこと。恥ずかしいと思う必要はない。」と基礎基本の大切さを説かれました。別の生徒からは、「やりたいことが多すぎる場合はどうしたらいいか」という質問には、「やりたいことをそれぞれ、できるだけ調べて自分を納得させるしかない」とのことです。やはりどんな状況においても、自分自身を決めるのは自分なんですね。

他にも時間が足りないくらい多くの質問がありました(休憩中にも質問者が列を作りました)。しかし、その度に先生の経験等を踏まえ、上で述べたようなお考えやお気持ちに基づき、一貫性があり、かつ丁寧な助言を頂きました。

最後には、東大が求める人材について話がありました。それは、「日本を広い意味で発展させるためにリーダーシップを発揮してくれる人材。問題発見能力や課題設定能力、コミュニケーション能力を持った人材」だそうです。しかし、これは地域が、日本が世界が求める人材とも言えると思います。今日の講話を刺激とし、生徒たちが議を言っても自己実現に邁進する高校生活を送ってくれることを期待します。

続いて、同窓会会長である瀬戸口様はじめ、5名の方々からお話を頂きました。皆さん、短い時間の中で密度の濃い話をしてくださいました。ここには到底書ききれないので、詳しい内容はお子さんに土産話として聞いてみてください。

現在、生徒たちはホテルで夕食中です。明日に向け、お腹を満たします。

○ おはようございます。

昨日の午後はディズニーシーを楽しんだ生徒たち。アトラクションやショーはもちろん、グルメにショッピングとそれぞれが夢の国を楽しんでいました。

そんな様子を見ながら気付いたことは、この夢の国は本当に平和な空気が流れているということ。見知らぬ人同士なのに、自然と手を振り合ったり、行列に並んでいると前後でいつの間にか仲良くなっていたり、ショーを見ながら音楽や演出、そして感動を共有したり。



みんなが楽しみたい、この世界観を大切にしたいという思いを共にしているからこそ、そんな平和な空間ができるのではないのでしょうか。大袈裟かもしれませんが、日常生活でも互いが手を振り合い、仲良くなり、感動や楽しさを共有できれば、学校だって社会だった、もっともっと素敵な集団になると感じました。

高いお金を保護者の皆様に負担頂くことで実現しているこの旅行も最終日を迎えました。今朝の様子を見れば、多くの生徒がしっかりと夢から覚めている様子です。

しかし、たとえ夢の国であっても、体験や見学であっても、自分の眼を通して見た光景は、きっと生徒がこれから自他の幸せを作っていくためのヒントになると感じています。負担頂いたお金と同等の価値ではなく、それ以上の価値がこの旅行にはあると信じています。鹿児島に帰ったら、そんな彼ら彼女らの土産話に耳を傾けてあげてくださいね。


本日最終日。国会議事堂での玉龍 OB である尾辻秀久参議院議長との交流やお台場での散策を行い、帰路に着きます。

最終日は、大先輩が待つ国会議事堂へ。尾辻秀久参議院議長がお忙しい中、出迎えをしてくださり、生徒に対して激励をくださいました。尾辻先生は、生徒が直に床に座る様子見ると、「大丈夫？冷たくない？」と優しく声を掛けてくださる一方で、玉龍が名門たる所以を力強く語ってくださいました。その上で、玉龍で学びを共にした同級生に助けられたエピソードを教えてくださいました。15期生もまた同じように、これからの人生において支えとなり刺激となる関係であってほしいと思うことでした。

その後は、会議場の見学などを行いました。ここでも、多くの質問があり、参議院のことを中心に理解を深めることができました。今後、参議院での国会ニュースがあれば、ぜひお子さんに話を聞いてみてください。色々と解説してくれると思います。

午後は、お台場研修でした。短い時間でしたが、食事とショッピングを中心に最後の東京を満喫しました。フジテレビでは、公開生放送を見学することもでき、鹿児島ではできない経験もすることができました。

現在、お台場を後にして、羽田空港に向かうバス中です。無事に東京を発つことができそうです。

 若竹15期生は現在、鹿児島空港です。

今回の修学旅行は充実の二文字。しかし、その裏では、各生徒や実行委員の工夫や努力があったことをお伝えします。多くの生徒がこの旅行を支えてくれましたが、その中から2つだけ。

初日の大学研修。慣れない東京。提供されたスマホはあるものの戸惑う生徒が多い中、ある生徒が班員に向けてプリントを出してきました。

それは、電車の乗り継ぎに関する路線や時刻の情報を自分でまとめたプリントでした。それを見れば一目瞭然。スマホに頼ることなく目的地まで到着。最高のスタートを切ることができました。

また、実行委員は旅行前から様々な準備を進めてきましたが、旅行中も同様。他の生徒が部屋に帰った後も、ミーティングを行い、翌日の旅行がスムーズにいくように打ち合わせを重ねていました。そしてその内容を全体会で全生徒と共有するのですが、うまく共有できずに慌てた様子でした。



結局うまく伝達できず、生徒たちの頭上に「？」が浮かんでいるのが分かりました。それでも、再度情報伝達の機会を作ってほしいと申し出てくる実行委員。そのためにも就寝時間ギリギリまで続いた話し合い。結果として、とても分かりやすい説明を行い、旅程の円滑な進行を実現しました。

ここでは2つしか紹介できませんが、こうやって自分ごととして、かつ誰かのために試行錯誤することこそが真の学び、真の成長につながるのだと思います。失敗あつての学び、行動あつての成長です。

さて、これまで今回の旅程における主な活動の様子を配信しましたが、旅の思い出は、生徒一人一人違うかと思います。ご自宅では是非とも思い出話に耳を傾けてあげてくださいね。

もうすぐ鹿児島空港を発ちます。鹿児島中央駅到着は、19時00分頃となりそうです。これで修学旅行における配信を終了します。長文読んでいただきありがとうございます。そして、最後になりますが、保護者の皆さまの御理解と御支援に感謝しております。

●以上【八期LINE】に来た玉龍後輩たちの修学旅行の記事 濱崎隆 提供



●大石さん

情報ありがとうございます。

いよいよ 勝みなみプロ ゴルフの本場 アメリカへ挑戦 きばいやんせ！

今年 まづ 一勝 期待したいです。環境が変わり、言葉の問題など色々な面で たいへん 気疲れされることもある中での 活躍 まづ体調面を十分気を付けて 頑張っしてほしいと思います。

お母さまが 同行されるとか… お互いに大変と思いますが

しっかり サポートしてやって欲しいと願っている次第です。

有難うございました。

木場 祥雄

●20日: 谷山筋②とみなみ渡米(南日本新聞)夜は鹿児島3民報ローカルニュース放映

「自分で悩み、試行錯誤しながら夢を追って来た。

アメリカはきっと、あの子を受け入れてくれる。(市来)



勝みなみ・24歳、世界一愛されるゴルファーへ。

鹿児島の宝が海を渡る。

そこには、きっと、アメリカンドリームが待っているに違いない！



●家康:大河ドラマは観ていませんが、安部龍太郎の家康が読んでいます。狸おやじのイメージは払しょくされます。江戸時代の前、薩摩はちょっとした国際都市でした。

勝みなみ「勝つ、みなみ」その名の通り

アメリカでは何かに秀でた人に、敬意を払い親切にしてくれます。

加えて、笑顔、スマイルがあれば楽しく過ごせます

みなみは、それらを備えているようですから、居心地は良いでしょう。良い

アシスタントが付くとも聞いております。

ジジの教えを守っているお孫さん「勝つ、みなみ」の活躍を応援しましょう。 西山



3月21日 朝早く、突然の訃報 LINE が来ました！ 大石



訃報



永年にわたり、玉竜八期会の副会長を務めてくださいました木村美子さんが、本日、午前3時急逝されました事、謹んでお知らせ致します。

玉竜八期会会長 浜崎 隆

通夜 3月21日午後6時

告別式 3月22日午前11時より玉泉院吉野会館

● まさか美子さんがこんなに早く亡くなるなんて想像だにしていなかった。一週間前二人で昼ご飯を食べた時は僕



の事を心配して頑張りなさい(よ)とお互い頑張ろうと励まされたばかりでした。(し)(よ)(く)です(ですよ) 急な知らせで只々驚いています。残念ですね、ご冥福をお祈りします。

合掌 柴田

● 先ほど八期有志の仲間と永遠の別れになる美子さんに会いに行っていました。



突然の別れなのか？普段と全く変わらない姿で目を閉じていました。鮮やかなピンクの口紅に、首にはお気に入りの鮮やかなレイをかけた姿で眠っていました。「母からです」と、息子さんから 白い封筒を渡されました。

中を隆さんに開けてもらすと、2枚の便箋に.....

八期ロックローラー(LINE)のみなさん(へ)...故木村美子さんからのメッセージでした。

ここに掲載させていただきます。

大石

● 小雨模様の春分の日、早朝から、テレビ画面にかじり付いての WBC の準決勝(野球)に夢中になっていました。



かねて来ない木村美子さんの息子さんからの着信が5回も..... 悪い予感が当たってしまいました。会話では「いつ何があってもおかしくない歳」だとはいえ、やはり別れは『突然！』と思っています。

寂しさを禁じ得ません。ほんのこの前退院祝いをしてワインで談笑してきたばかりでした。

金髪のカツラを被って皆で大笑いした顔を大事に脳裏にしまっておきます。 大石



● 木村さんのご冥福を心よりお祈りいたします。合掌 隈元



● 合掌 !! 八期会への貢献度の高い方でしたね。 村上



● お通夜に参列してきました。この写真と変わらないお顔で眠っておられました。 森



● 八期会副会長 木村 美子様のご逝去の報の連絡頂き有難うございます。謹んでお悔やみ申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。合掌 木場 祥雄

追伸 会長 浜崎様によろしくお伝えください。





●ビックリです!! 胸が息が止まるかと驚きました(驚く)なんで他の病気してたのですか？



た

●ご冥福をお祈り致します。安らかにお眠りください。

堀田昌子

西山和宏



●ビックリしました御冥福を、お祈りいたします。

韓国旅行で、一緒したことが、思い出されます。

安倍



●木村美子さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

上山



●木村さんのご冥福、心より、お祈りいたします。

ハ期会の副会長、ご苦労様でした。ハ反丸病院でお会いしたのが最後でしたね
(病院)待合室でリハビリのためお互いお逢いしましたね。

頑張っていたしやつたのに、残念です🥲

永野和枝



●美子どん！

ありがとう、!!! 最後まで、笑顔のあなたしか、思い出せません。安らかにお眠りください。

伊藤工子



美子ドンも侍ジャパンが世界一なつて喜んでいると思っています。

侍ジャパンの事を気にしていました侍ジャパン最高です。

善之助



故・美子さんから『八期ロックンローラーの皆様へ』お礼の言葉！！

(3月21日(春分の日)通夜の間行われました吉野玉泉院の式場にて息子さんから封のまま手渡されました。式後、浜崎くんが開封しました。)

以下、原文のまま.....

八期ロックンローラーの皆様お世話になりました。

●大石さん、いろんな情報、携帯電話(ガラケーからスマホ、 아이폰)の操作指導助けてもらいました。

ありがとうございました。

- 浜崎さん、いつもいつもユーモアのある話で沢山の勇気、元気を頂きました。ありがとう。
- 善ちゃん、メモリアルツアーからの付き合いでしたね。善ちゃんは名前が表す通りとても親切でしたね。ありがとう。
- 柴田さん、メモリアルツアーから毎年誕生日に花を送って頂き、21年間ありがとう。癒されました。
- 藤崎さん、おいしいコーヒーありがとうございました。癒されました。
- 瑞代ちゃん、楽しい会話ありがとう。楽しかったね。
- 典子さん、いろいろ四季折々の花の画像をメールで送ってくれてありがとう。癒されました。
- 工子さん、話をするたびにいろんなことを教えて頂きありがとう。

親愛なる八期ロックンローラーの皆様ありがとうございました。笑って送ってくださいね。

木村 美子

● 3月23日



期待の勝プロ、楽しみですね。まあ初戦だから予選通過で上々と思われるが、肝が据わっているようであり期待も。今回はじいちゃんには行かないのですね。楽しみながら応援しましょう。

謡曲の大曲「安宅」に取り組み中です。小生の趣味の一つです。

佐倉市 古市



● 謡曲？

全く別世界の芸術です。

能自体が神秘的な世界です。それが趣味とは？ 本田さんも会いたがっていますよ。

天昌寺のことなどが「ひろば」欄に投稿されました。隈元

● 私の近所に住む歴女の横田美保さんが天昌寺などを訪ねて、



永吉南郷会の「あなたが選ぶかごしま景観大賞」受賞のことに触れながら

史跡保存の大切さなどを書いておられます。その文章を添付します。 隈元

● 史跡保存、本当に大切なことだと思います。



歴史を知ることは現在を知ることに通じます。

歴史は繰り返すと…。 西山和宏

● 隈元様、西山様、大石様、



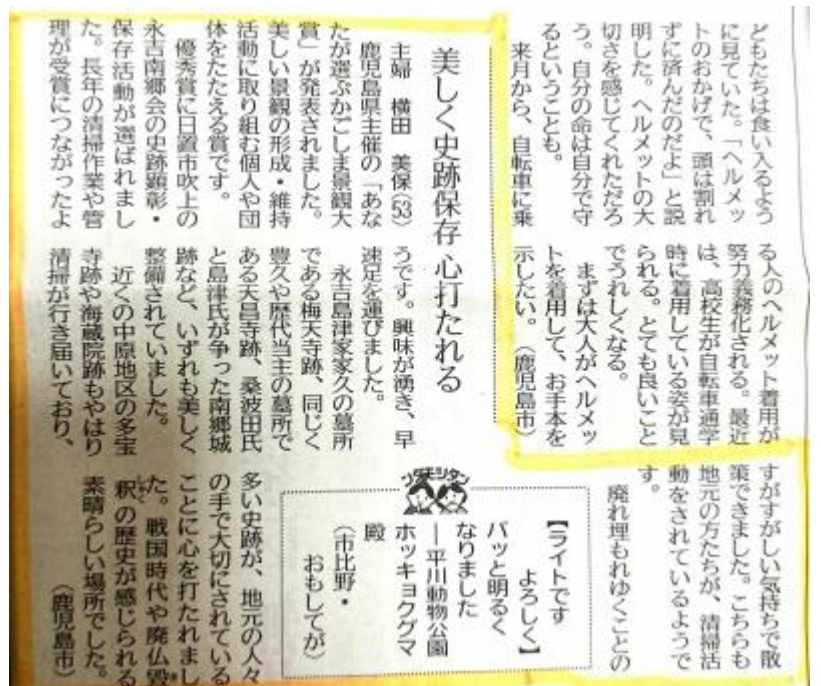
それぞれ、南日本新聞の「ひろば乱」への歴史愛好家の横田様の「投稿文」を示していただき、誠にありがとうございました！！

！！

受診トレイを見るのが遅くなりまして、すみません

隈元様が、メル友の横田様を現地へご案内していただいたそうで、大変ありがたいと思っています。

当日、拙宅にも寄っていただいたそうですが、留守でゴメンナサイ、失礼しました。



鹿児島県主催の今年度の「景観大賞」優秀賞を受賞した事、私ども永吉南郷会の、昭和20年代からの地元の史蹟顕彰・保存活動が評価された事での今回の出来事でした。

実は、この景観大賞に応募していただいた方も鹿児島市内の歴史愛好家の方でした。

その方が、伊敷歴史研究会で、3回ほど永吉島津家などについて

私が発表させていただいたことで、永吉の天昌寺跡などを見学されて、景観大賞に値するのご判断で、ご自分で応募意されたことで、我々としても、

鹿児島県庁から実地調査に来られるとの事で、初めて他薦での応募があったことが分かった次第です。

地元としましては、大変にありがたい事でした。

それだけに、人気投票では、地元の永山日置市長はじめ、市役所及び、地元吹上町各地区公民館などのご協力を得て、市民の人気投票などにも努力させていただきました。

最終的には、県庁が委託した有識者による「審査選考会」で決定されたのです。

大賞は、鹿児島県を売り出すには、やはり、景色が素晴らしい開聞岳が眺められる景勝の地が選ばれました。

我々の天昌寺跡・梅天寺跡・大辻石塔群・南郷城址などは、どうしても地味ですから、優秀賞をいただけるだけで、満足です。

今後も、地元の史蹟保存を継続しながら、ふるさとの歴史を生かすことも、今後若い方々へ引き継いでゆくべきと心得ています。

我々老生の責務であるとも認識しています。2023年3月24日(金) 10:03

●25日西山アンサー



長年の意義ある活動が広く公に認められたことは

喜びも一入だと思います。

また、健康にとっても何よりの良薬でしょう。

本当に良かったですね！！

●YouTube 動画『大石ケイジの中国スケッチ③②杭州・岳王廟の PDF ダイアリー



<https://youtu.be/DsoSJLITYqq>

「pdfダイアリーは今からまとめます。YouTube 動画説明をごらんください。

●大石さん

久しぶりに 杭州景観見せて頂きました。西湖風景 よろしいですね！



有難うございます。私は 仕事で 訪問していますので 観光ということで ゆっくり見て

いません。大石スケッチで 見て 楽しかったです。有難う！ 木場 祥雄

●さっそく『中国🇨🇳スケッチ』感想いただきありがとうございます。

pdf ダイアリーもまとめたいのですがなかなかはかどりません。中国人の友人にナレーションをお願いしていますが



聴き難くないですか？

自分でしたいのですが、自分の声は聞くのはイヤですね

●毎度のことながら素晴らしい映像ですね、エゾー



2004年11月、妻と共に西湖を訪れました

ここが、あの有名な湖かと思いました
水が清くなかったことは中国らしいのかもしれない
日本では、湖は水清きものと思ってしまいます
湖畔には、日本人が建てた石碑もあったように憶えています



●同じ頃にお互い家族と西湖付近をぶらついてたのですね。茶館の隣卓で顔を合わせたらおもしろかったことでしょうね。

●中国人の団体を引き連れたガイドの携帯マイクのうるさいこと



レストランで、6人ほどの席で、もつとご飯が欲しいという人がし
いたので、「我欲白飯」を書いてウエイレスに渡したら大どんぶりで「白飯」が来た。

しばらくして、隣のテーブルを見たら「チャーハン」の大どんぶりを取っていた。私も「白飯」よりも「チャーハン」のほうが欲しかった。

●大石さん



ナレーション 全然 問題ございません。

いつも 観光名所の景観 見せて頂き感謝しています。

杭州 銭塘江の逆流の光景も記憶に残っています。 豪快な 逆流風景でした。

いつも ありがとうございます。

次は どこですか？・・・楽しみにしています。 木場 祥雄

● 今も興味深く youtube を見て、また添付ファイルも読みました。



これまで見てきたものも含めて中国は底しれぬ深さを持った国だということを今更ながら実感します。

広大な土地、そこに住む数しれぬ人々、育まれた今に残る想像を超える文化遺産などこうして見せてもらおうと、

大石くんが中国にハマっていったのがわかります。

大石くんが中国でホテルを予約するのに言葉に自信がなくて「泊まっているホテルに次のホテルの予約をお願いしてみようか」というようなことを書いていますが、

私の経験はもっと拙いもので就職して鹿児島から当時の小倉市に赴任したのだが、それまで「かごつま弁」しか使ったことのない私が初めて散髪に行った床屋さんで

自分の好みを「標準語」でどう伝えたらいいのか散々迷ったことです。まあそこは土地は違えど日本だったため何とかなっただけでしょうね。

最初はそういうことは数知れずあったのですが、今は懐かしく思い出すのみです。 隈元

●多分、pdf ダイアリーは YouTube 動画を観ても pdf を読む人はあまり居ないと思っています。ぼくとしてはダイアリーが



主体で動画は動く挿絵のつもりなので読んでいただき感謝です。

ところで YouTube 動画はパソコンで観てますか？もしテレビ画面で YouTube を観ていたら、文字検索に(大石ケイジの中国スケッチ)と入れてみてください

●ありがとうございます。



私はデスクトップの画面がそこそこ広いので、テレビでは未だ見ていません。

今日はグラウンド・ゴルフのあと花見でした。

桜は今一でしたが、久しぶりに14

隈元

●花見  いいですね。



古市くんから鹿児島に帰る予定が来ました。
皆での歓談会食は森さん宅にしましょう。
どこか？近場で『歴史』訪ねる場所ありますか？

本人が行きたいところがあったらいいけど？

日程は LINE 歴史グループにあります。

足腰に難がありそうな気がします



●大石さん 何かとお世話になります。29日(水)の帰りを予定しています。ただ、4月2日までは法事などで手だ離せません。皆様にお会いするのは3日以降でよろしくお願いたします。久方ぶりのことながで狭窄症の後遺症の関係で歩行が健常者のようにはいきませんがまずまずといったところですよ

佐倉市 古市

●Re:WBC (ワールド・ベースボール・クラシック)侍ジャパン優勝！26日



日本での予選から見続けました。今回は素晴らしい戦いぶり、栗山監督の采配、大谷翔平選手を中心としたまとまりのあるチーム すべてが素晴らしかったです。感動しました。

メキシコとの準決勝、野球本場 アメリカとの決勝戦 ドラマ以上の物を見ることが出来ました。

そこで、今回の WBC 優勝の裏では、「経営の神様」稲盛和夫の教えが大いに生かされていたという記事が

ダイヤモンド誌に載っていました。

歓喜に沸く日本列島にあって、そんな知られざる奇譚を明らかにしたい。

メキシコ戦に続く快心の逆転勝利で、侍ジャパンは見事 14 年ぶりの世界一へと振り返った。選手の活躍はもちろんだが、代表チームを率いた栗山監督が大きな立役者であるのは間違いない。振り返れば、WBC でも投打に大活躍した二刀流のスーパースター、大谷を北海道日本ハムファイターズ時代に育て上げたのも栗山氏だった。

そんな同氏が、以前から、稲盛和夫氏の経営哲学に敬服されていた。実は WBC 直前にも、ある書籍を通じて稲盛氏の教えを改めて心に刻み込み、監督業に生かしていた。しかも、著者に直前に手紙を送ったほどだから、稲盛氏の教えが少なからず優勝に貢献していたはずだと書かれている。

キャンプ直前に著者が、この本を 栗山さんが稲森氏の経営哲学を敬愛していると知り、新著を送ったところ、直筆で感謝を綴った手紙が大田氏の下に届いた。両氏の承諾の下、栗山氏の手紙が写真入りで紹介されている。

その書籍とは、今年1月に発刊された『稲森和夫 明日からすぐ役立つ15の言葉』(三笠書房)。著者は、稲盛氏が「私の副官」と呼び、京セラ秘書長などとして約30年にわたり側近を務めた「側近中の側近」大田嘉仁氏「京セラ常務秘書室長・元日本航空会長補佐」だ。

大田氏が長きにわたる秘書人生の中で学び取った「15の言葉」(以下参照)のついて、多くのエピソードを交えながら平易な表現で稲森哲学を解説した本であると書いてある。

「15の言葉」を記載、皆様に紹介、私は この本を1,650円で購入手配したということで終えたい。

「15の言葉」

1. 謙虚さは「魔除け」になるんだ。
2. 成功を「試練」と思えるか、どうか。
3. 素直に言って、素直に叱られて、素直に反省する。
4. 人生は死んでからのほうが長い。
5. 「過去」を否定しては、ダメなんだ。

●30日 古市さん歓迎会の件、了解です。もちろん出席します。



3泊4日のバス旅から先程帰ってきました。

さすがに老体には応えませんでした。次からの旅にもう一工夫するヒントになりそうです。ブログは停滞したままで、今回の旅のこともいつ書けるのやらというところですよ。

●お疲れさまでした！



足のマッサージ、しっかりと、お願いします。

何がいいのか？分かりませんが、2,3日前、ぼくは「こむら返り」という症状を夜中に初体験して「これは脳か？心臓に？関係あるのでは？」とグーグルドライブをし方でした。

旅の話をお聴くのがたのしみです。

この次は弥次喜多しませんか？

古市くんのいろいろなアドベンチャーワールドも楽しみですね。

●おはようございます。



私も腓返しや金縛りなどいろいろ経験しています。

金縛りは眠る時横向きにしてから治ったようです。

今朝もごく普通に目覚めました。まだ少しは元気に過ごせそうな気もしますが、こればかりは妻のこともあったのでわかりません。

ただ一人旅で勝手に食べすぎたり、食べなかつたりで胃の調子が今ひとつというところですよ。

まあ、しかしこの年齢にしてはよく動けたかなと自画自賛しています。

いいですねえ。良いプランを立てて次は弥次喜多道中をしましょう。

●勝みなみさん 黄金時代が最強である理由 という雑誌記事 3月のラストメール



楽天読み放題 月額 500円で 週刊誌など いろいろな雑誌が 読める会員になっています。

今週の 週刊現代 4月1日8日号に掲載された記事 コピーして 郵送しました。

① 勝みなみさん 1998年生まれの人が 今シーズン初優勝の 吉本ひかる選手を入れて 花の1998年 優勝者が 12名出ている。この世代の中心選手が 勝みなみ選手であるという記事が 週刊現代 4月1・8日号に出ていましたので コピーし 郵送しました。

②「ボケの壁を乗り越えろ！」という記事が 同じ週刊誌に 掲載され、厚生労働省が調査・発表している国民生活基礎調査をもとに本誌(週刊現代)が独自に算出すると日本では鹿児島県、奈良県の二縣が、極めて「認知症になりにくい」ことが判明したという記事が掲載されていまして、これもコピーして郵送します。

65歳以上の人口のうち、認知症の割合が 47都道府県中、最も低かったのは鹿児島県の1.37%、次いで奈良県の1.44%となっている。

2.99%と最も割合が高いのは 滋賀県の半分以下の数値である。

なぜか？・・・と鹿児島へ取材したら、 グランドゴルフの競技人口とゲートボール競技人口が とともに全国で1位ということの様です。

カラオケの愛好者も多いようです。

以上 面白い数字が 掲載されていますので 明日、郵送します。

木場 祥雄

● 編集部より ただ今、3月31日 pm3時 今月はこれでメール往來の終了します。

大石



●古市さんを迎えてランチ会は4月7日(金)に森さん宅にて開きます。時間は正午頃♥ 大石

●26日に戻って木場さんのメールに対する返信を掲載します。

●八期会の皆様



今回のWBCの優勝 素晴らしかったです。予選から すべて見ました。 感激しました。
栗山監督が 稲盛和夫氏(京セラ)の教えを感銘し、実践されておられる記事が ダイヤモンドに出ておりましたので 大石さんへ メールしたのを 八期会の皆様にも 転送します。

よろしく

木場 祥雄

●日高さん

先週 WBC 侍ジャパンの活躍 凄かったです。

八期会(玉龍33年度卒 同期会)へ メール連絡した 写しを メールします。

栗山監督が 京セラ 稲盛和夫氏の教えを 共感し、 勝負にも生かしておられるとの記事が ダイヤモンド誌に載っていましたので メールします。

ともかく 素晴らしい試合でした。

活躍 中心 大谷翔平選手 高校生の時に 27歳で WBCに参加し 優勝するという夢を描いていたとか・・・記事が出ていました。 今回のチーム 中心になって プレーだけでなく 色々な面で 貢献したと思います。素晴らしい選手です。

稲盛和夫氏 玉龍高校第一回卒業生で 私生活は 質素 自宅には 太陽光は 設置されていなかったようです。 設置できるような 家ではなかったとか・・・と聞いております。

以上 よろしく 木場 祥雄

追伸 勝みなみさんも いよいよアメリカへ今週より一始まったようです。がんばってほしいです。

●木場さん、西山さん！！



皆さんがおっしゃる通り、今回の「侍ジャパン」の優勝は、ほんとうに見事でしたね？！

栗山監督の緻密で、チーム全体への温かい采配ぶりは、彼独特とはいえ、スゴイ「力」を発揮させていましたね？！

そして、言わずもがま、大谷翔平の二刀流の「冴え」と「彼の超人的努力」にも、感嘆させられました。

それに加えて、敢て申し上げれば、自分はダルビッシュ侑の、今回の1ヶ月前からの「宮崎合宿」に参加すべく、自分が所属している球団(パドレス)に自ら交渉して、シーズン開幕前の1月も前からの「合宿参加」を成し遂げ、その合宿期間中において、若手投手選抜者に対して、投球術はもとより、日常の食事会「ラーメン大会など」などに勤しみ、彼らとの連携とコミュニケーションを十分に摂って、投手陣の結束を固めた事であります。

これは、以後の連戦の戦いの中で、幾度も素晴らしい若手投手陣の投球内容(特に優勝戦の1回ごとの若手投手の奮闘ぶり)に表れたと感じています。他国と段違いに異なり、投手陣が安定・確実な起用が出来た事、これは彼の日本チームへの最大な貢献であったと思われまます。

ダルビッシュ侑投手の従来からの「イメージ」は、どちらかと言えば、「孤高の人」あまり後輩やチーム内でも一人で自分の調整などに、専念する印象が深いと思っていましたが、自分の身体の調整期間であるこの開幕前の貴重な時期に、栗山監督の要請もあったでしょうが、一番先に宮崎合宿に参加して、チームに溶け込むことや、チームの団結に大きな力を注いだこと、是は、さすが大リーグで10数年も現役で活躍した彼であったからこそ、成し得た功績であったと思われまます。

この、彼の努力の結晶が最終戦の彼のアメリカでの、あの8回の登板を呼び起こしたと確信しています。

あの登板は、大谷の最終回の締めくくりを含めて、事前にダルビッシュ自身で栗山監督の了解を得ていたと思います。この事については、既に自分のブログにも詳しく書き込みました。関心のある方は、ブログの方も覗いてみてください。ブログは、ヤフーでもグーグルでも「中期高齢者である田舎人のタワゴト」で検索いただければ、ご覧になれます。

2023, 3, 28、 本田 哲郎。

●2023年3月27日(月) 9:07 木場祥雄 <ikomakoba81@gmail.com>:

西山さん



早々に 返事頂き ありがとうございます。

今回のWBC 優勝できたのは 栗山監督の采配 ダルビッシュが 決勝戦 トラウトはじめ アメリカ選手についての情報を 監督、コーチ陣に提供したり、色々な人が 協力し合って 成し遂げられたものと



思います。

日ハム出身のコーチなど 13人が 栗山監督と 一緒に 行動した...ということらしいです。

木場 祥雄

● 2023 年 3 月 27 日(月) 8:11 <mfikazu@tkg.att.ne.jp>:

●おはようございます。



栗山さんは聞けば聞くほど有能な立派な方の方ですね。稲森さんの教え、影響力には今更ながら驚きです。西郷さんに劣らない影響力です。本当に素晴らしい感動的なゲームが多かった

それには、後攻めの試合が多かったためにサヨナラ ゲームを演出し感動的なシーンになった先攻、後攻はどのようにして決めたのでしょうか？

侍ジャパンにはメジャーリーグのプレイヤーが多いでしたが日本から選ばれたのでは、ヤクルト 5 人で最も多く読売・ソフトバンクが・オリックスが 4 人阪神・西武 3 人、日本ハム・西武 2 人、楽天・ロッテ・中日 1 人 広島はゼロ。 悲喜こもごもの WBC でもありました。

●みなさん おはようございます

本田さん



まったく仰る通りで、すべてにおいて善意と努力が見事に昇華した後世に語り継がれるゲームであり物語でした。ダルビッシュは賢くて温情のある兄貴でした。栗山監督は、言わずもがなですが見事

大谷は、もうベーブルースと比較する必要がないほど超えました。所属チーム、エンジェルス資産価値すら上げてしまいました。すべてがよかった、よかったです。

3年後の新庄はどのような役割を担うでしょうか？

今回活躍した、戦略番号 16 と 34 は、往年の名選手のものでした。

誰と誰でしょう？

簡単すぎたでしょうか？

西山和宏

● 3 月 2 8 日 木場祥雄

本田さん



返信頂き有難うございます。

確かに 言われるように ダルビッシュ侑が宮崎のキャンプから参加 自分のトレーニングに必要がありながら

侍ジャパン若手投手陣に 投球術はもとより、日常の食事会などで コミュニケーションを自ら率先して 結束を図ったことなども報道されています。アメリカ選手 打者に対する 情報 凄い量の資料を提供し、最後のトラウトに対する情報も 準決勝が 終わってから コーチに提供し、策が練られ、うまく 三振で打ち取り、優勝を勝ち得たとの話も TV で放送されています。アメリカでの十年間に 得た情報を開示したということが 大いに勝利することが出来たものと思います。

凄い、貢献！でした。

さて、話は変わりますが「中期高齢者である田舎人のタワゴト」読ませて頂きました。

人工透析を受けられ、ご苦労されておられることがよくわかりました。

お大事に療養続けて下さいますよう お願い致します。

昨年 5月に お会いした時は、既に療養生活が始まっておられたのですね。気付きませんでした。

有難うございました。

木場 祥雄

● 3月28日 20:29 木場発

:勝みなみさん 黄金時代が最強である理由 という雑誌記事



楽天読み放題 月額 500円で 週刊誌など いろいろな雑誌が 読める 会員になっています。

今週の 週刊現代 4月1日8日号に掲載された記事 コピーして 郵送しました。

① 勝みなみさん 1998年生まれの人が 今シーズン初優勝の 吉本ひかる選手を入れて 花の1998年優勝者が 12名出ている。この世代の中心選手が 勝みなみ選手であるという記事が 週刊現代 4月1・8日号に出ていましたので コピーし 郵送しました。

②「ボケの壁を乗り越えろ！」という記事が 同じ週刊誌に 掲載され、厚生労働省が調査・発表している国民生活基礎調査をもとに本誌(週刊現代)が独自に算出すると日本では鹿児島県、奈良県の二縣が、極めて「認知症になりにくい」ことが判明したという記事が掲載されていまして、これもコピーして郵送します。

65歳以上の人口のうち、認知症の割合が 47都道府県中、最も低かったのは鹿児島県の1.37%、次いで奈良県の1.44%となっている。

2.99%と最も割合が高いのは 滋賀県の半分以下の数値である。

なぜか?・・・と鹿児島へ取材したら、グランドゴルフの競技人口とゲートボール競技人口が ともに全国で1位ということの様です。

カラオケの愛好者も多いようです。

以上 面白い数字が 掲載されていますので 明日、郵送します。

木場 祥雄

